

標 題	雲南農業生産工程管理（GAP）研修会を開催
-----	-----------------------

（ダイジェスト）

雲南地域のGAP指導・推進関係機関職員のGAPに関する知識と理解を深めるための研修会を開催し、参加者は24名で、県内でも先進的にGAPを導入した事例及び美味しまね認証制度について学びました。参加者のGAPへの理解を深めるとともに、関係機関が連携しGAP推進に取り組む機運を高める会となりました。

11月27日、JAしまね雲南地区本部において、雲南農業生産工程管理（GAP）研修会を開催しました。

雲南地域では、H30年度に雲南地域GAP推進協議会（構成員：雲南市・奥出雲町・飯南町・JAしまね雲南地区本部・東部農林振興センター総務企画部・農政部・家畜衛生部・雲南事務所）を設置し、GAP・美味しまね認証の取り組みの拡大に向けて活動し始めたところです。

この度、GAP指導・推進を担う協議会構成員のGAPの意義・目的・取り組み内容に対する理解を深めることを目的に、農業普及部が主体となり、雲南地域GAP推進協議会の活動として本研修会を開催しました。

まず先進事例の紹介として、県内でも先進的にGAPを導入し、JGAP認証にも取り組んだ（有）だんだんファーム掛合の取り組みについて、小田達雄取締役農場長から講演いただきました。

講演では、農産物安全のみならず産地をつなぐツールとしてGAP導入に取り組んだこと、農家が書きやすく使いやすい帳簿の工夫、記録を活用した経営改善の取り組みなどについて聞くことができました。

続いて、農産園芸課食の安全推進室高田室長から、GAPの情勢と美味しまね認証制度の概要、認証取得に向けて取り組むことがらについて説明を受けました。

研修を通じ、GAP導入は農産物安全を担保するだけでなく、記録を活かすことで収益性向上等の経営改善につながることで、人材育成に役立つなど、多くの効果があることを学ぶことができました。

参加者アンケート結果からGAPの意義・目的・取り組み内容に対する理解が深まったとの回答が多く得られました。また、次のステップとして研修内容に対する要望等もあり、今後の活動に活かす予定です。

農業普及部では、今後も関係機関と連携し、管内のGAP取り組み機運の醸成、農業者のGAP取り組み支援を行っていくこととしています。



研修会場の様子



研修会の一場面